

森林土木部会研修会

「東日本大震災の土砂災害に関する研修会」報告

森林土木部会

1. はじめに

平成 23 年 3 月 11 日、東北地方太平洋沖で発生した巨大地震を引き金とした東日本大震災においては、太平洋沿岸の津波災害、福島県の原子力施設災害が大きく脚光を浴びましたが、そのかげで、土砂災害も各地で発生しました。森林部門技術士会では、東日本大震災における土砂災害の概要と特徴について理解を深めるために、下記のとおり研修会を開催しました。

名 称：東日本大震災の土砂災害に関する研修会
 主 催：森林部門技術士会（担当：森林土木部会）
 共 催：日本技術士会森林部会
 期 日：平成 23 年 9 月 16 日（金）、13 時 30 分～
 17 時 45 分（受付開始 13 時）
 場 所：日林協会館 5 階大会議室
 会 費：森林部門技術士会・日本技術士会の会員：
 無料、会員外：1,000 円
 参加者：約 40 名

2. 研修会の概要

根橋達三会長の開会挨拶のあと、休憩をはさんで 1 時間づつ、下記のとおり土砂災害の調査に関わった技術者の方々に、自然斜面の土砂災害や宅地の人工盛土の変動などの災害の状況について報告をいただきました。

①東北地方太平洋沖地震（3. 11）等による自然土砂災害と対応

稲垣秀輝（環境地質代表取締役／博士・技術士）

②2011 年東北地方太平洋沖地震に伴う造成地盛

土の地すべりと自然地盤地すべりとの共通性

太田英将（太田ジオリサーチ代表取締役／技術士）

③長野県北部地震（3. 12）による山地災害—長野県栄村中条川を中心として—

櫻井正明（山地防災研究所代表取締役／技術士）

その後、総合検討として、講演者と参加者をまじえて意見交換を行い、地震時の土砂災害について理解を深めました。

また、研修会終了後も、有志の方々に懇親会を開催し、有意義な交流ができました。

3. 森林分野 CPD の認定

本研修会は、一般社団法人森林・自然環境技術者教育会（JAFEE）が認定する森林分野 CPD の CPD プログラムとして実施され、参加者のうち約 30 名が CPD 単位を取得しました。

なお、研修会の単位認定のために、森林・自然環境技術者教育会（JAFEE）田中一司氏にご協力をいただきました。

4. おわりに

本研修会の講演内容については、太田氏の分（②）は前号（125 号）に、稲垣氏、櫻井氏の分（①・③）は、本号に掲載してありますので、御一読いただきたいと思います。

また、本研修会を開催するに当たり、森林部門技術士会事務局（森 好弘氏）及び森林土木部会（櫻井正明理事、明星晋理事、埋橋一樹理事、渡邊悦夫理事、西村和明理事）の方々にご尽力いただいたので、この場を借りて謝意を表します。

（文責：櫻井正明）

表-1 研修会の参加者 (参加者名簿より)

区 分	参加者	備 考
森林部門 技術士会会員	35	日本技術士会会 員 20 名を含む
日本技術士会会員	2	
その他	3	
計	40	

参考：JAFEE 会員 31 名

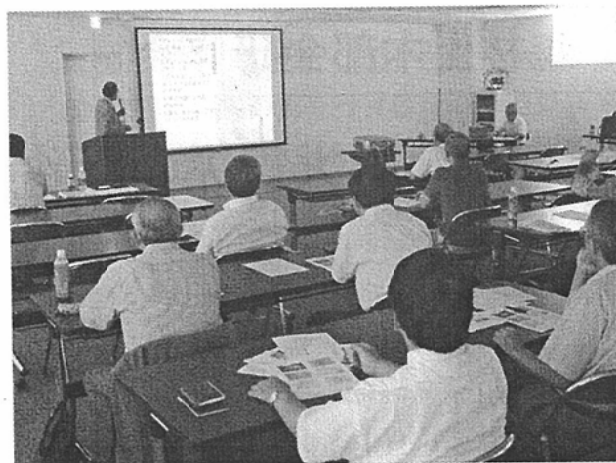


写真-3 講演の状況



写真-1 受付の状況



写真-4 講演者 稲垣氏

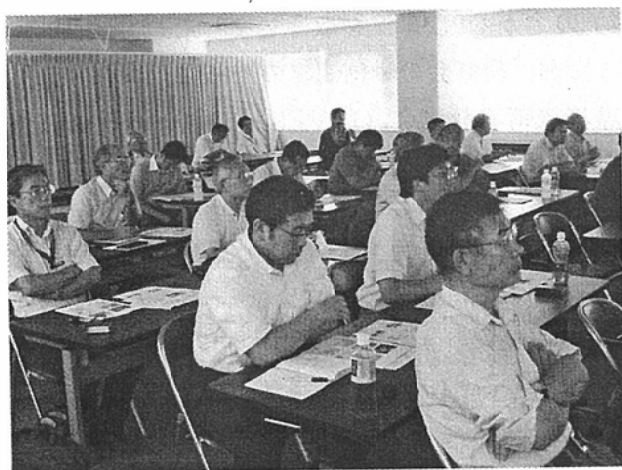


写真-2 会場の状況

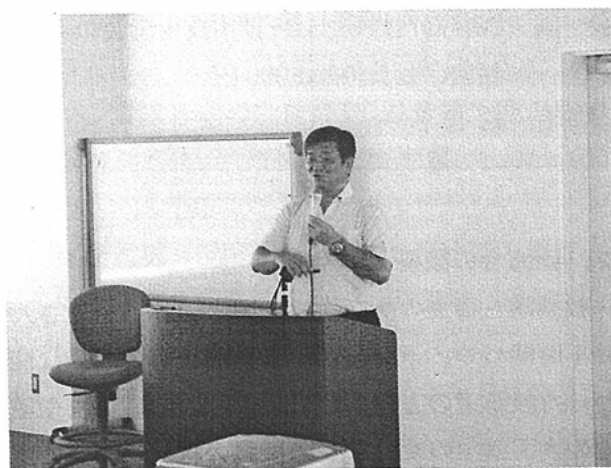


写真-5 講演者 太田氏